

射水市公共施設のあり方を考える講演会(仮称)について

1 開催の趣旨

本市は本年、合併10周年を迎える。しかし、合併前の旧市町村で整備してきた公共施設やインフラ資産(以下、「公共施設等」という。)の多くを、現在においてもそのまま維持管理・運営している状況にある。

また、人口減少や少子高齢化の進展する中、今後も厳しい財政状況下において本市の公共施設等を現状のまま適切に維持管理、大規模改修・更新していく場合には、多額の費用を要することが予測される。

こうした状況に対処するには、公共施設等の全体的な状況を総括的に整理・分析し、課題を整理することが必要不可欠である。

今回、「射水市公共施設のあり方を考える講演会(仮称)」を開催することにより、市民の方々とともに、本市の公共施設等を取り巻く現状や課題等の認識を共有し、公共施設等のあり方をともに考える契機とする。

2 日時

平成27年8月8日(土)午後1時から(2時間程度)

3 会場

アイザック小杉文化ホールラポール まどかホール(小ホール)

4 講師

南 学 氏(東洋大学大学院経済学研究科 客員教授)

講師プロフィール

1953年、横浜市生まれ。77年、東京大学教育学部を卒業。同年横浜市役所に就職。89年、海外大学院留学派遣でカリフォルニア大学(UCLA)大学院に留学。帰国後、市立大学事務局、市長室、企画局を歴任し、00年静岡文化芸術大学文化政策学部助教授に就任。神田外語大学教授、横浜市立大学教授を経て神奈川大学特任教授就任後現職。自治体の経営・マネジメントを研究。また、行政刷新会議の事業仕分けにも民間評価者(仕分け人)として参加。著書に『自治体アウトソーシングの事業者評価』、『行政経営革命』、『改革エンジンフル稼働』など多数。

5 対象者

一般市民、市議会議員、職員 等